

2022年3月11日

株主各位

大阪市北区同心一丁目6番23号
株式会社 千趣会
代表取締役社長 梶原 健司

「第77期定時株主総会招集ご通知」の一部訂正について

2022年3月8日付にてご送付申しあげました当社「第77期定時株主総会招集ご通知」の第77期定時株主総会招集ご通知に際してのインターネット開示事項の記載の一部に誤りがありましたので、謹んでお詫び申しあげますとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

記

【訂正箇所】 連結注記表（5 ページ 下線部分が訂正箇所です）

（訂正前）

会計上の見積りに関する注記

（商品及び製品の評価）

1. 当連結会計年度の連結計算書類に計上した金額

商品及び製品	9,123百万円
上記の内、当社の商品及び製品	8,958百万円
当社のたな卸資産評価損（△は戻入額）	<u>192百万円</u>

2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

(1) 算出方法

主として月別総平均法による原価法（連結貸借対照表価額については収益性の低下に基づく原価切り下げの方法）によっており、期末における正味売却価額が取得原価よりも下落している場合、当該正味売却価額をもって連結貸借対照表価額としております。

また、営業循環過程から外れた滞留品については、一定の期間を超えて保有している商品及び製品に対して、過去の販売実績に基づき帳簿価額を切り下げております。

（訂正後）

会計上の見積りに関する注記

（商品及び製品の評価）

1. 当連結会計年度の連結計算書類に計上した金額

商品及び製品	9,123百万円
上記の内、当社の商品及び製品	8,958百万円
当社のたな卸資産評価損（△は戻入額）	<u>152百万円</u>

2. 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

(1) 算出方法

主として月別総平均法による原価法（連結貸借対照表価額については収益性の低下に基づく価額切り下げの方法）によっており、期末における正味売却価額が取得原価よりも下落している場合、当該正味売却価額をもって連結貸借対照表価額としております。

また、営業循環過程から外れた滞留品については、一定の期間を超えて保有している商品及び製品に対して、過去の販売実績に基づき帳簿価額を切り下げております。

【訂正箇所】 個別注記表 (10 ページ 下線部分が訂正箇所です)

(訂正前)

会計上の見積りに関する注記

(商品及び製品の評価)

1. 当事業年度の計算書類に計上した金額

商品及び製品	8,960百万円
たな卸資産評価損 (△は戻入額)	<u>192百万円</u>

(訂正後)

会計上の見積りに関する注記

(商品及び製品の評価)

1. 当事業年度の計算書類に計上した金額

商品及び製品	8,960百万円
たな卸資産評価損 (△は戻入額)	<u>152百万円</u>

以上